

1.化学物質及び会社情報

昭和化学株式会社  
東京都中央区日本橋本町4-3-8  
担当  
TEL(03)3270-2701  
FAX(03)3270-2720  
緊急連絡 同上  
改訂 平成21年12月14日

化学物質等のコード :1665-2332

化学物質等の名称 :フタロシアニンブルー

2.危険有害性の要約

分類の名称 : 分類の定義上危険有害物に該当しない。  
危険性 : 可燃性であるが、通常取扱で発火などの危険性は低い。  
有害性 : 眼に入ると、眼を機械的に刺激する。  
粉塵を吸入すると、鼻、のど、気管が刺激される。  
環境影響 : 水生生物に対し急性毒性は低い。  
難分解性だが、濃縮性がない又は低いと判断される物質である。

3.組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 単一製品  
化学名 フタロシアニンブルー  
別名: ピグメントブルー15、銅フタロシアナート、C.I. 74160  
含有量 85.0 %  
化学式・分子量 C<sub>32</sub>H<sub>16</sub>CuN<sub>8</sub> = 576.08  
化審法公示番号 5-3299  
CAS No. : 147-14-8  
危険有害成分 : フタロシアニンブルー

4.応急処置

目に入った場合:多量の水で15分以上洗い流し、医師の手当を受ける。  
皮膚に付いた場合:汚染された衣服を脱がせ、洗い流してから水と石鹼で皮膚を洗浄する。医師の手当を受ける。  
吸入した場合:新鮮な空気のある場所に移し、水でうがいをさせる。安静保温に努める。医師の手当を受ける。  
誤飲した場合:口をすすがせ、吐かせる。医師の手当を受ける。

5.火災時の処置

消火方法:火災時、移動可能な容器は速やかに安全な場所へ移動する。移動不可の場合は水噴霧で周囲を冷却する。火元への燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。消火作業は風上から行い、必ず呼吸保護具を着用する。  
消火剤:粉末消火薬剤、水噴霧、泡消火薬剤、二酸化炭素。

6.漏出時の措置

こぼれた物質を密閉式非金属の容器内に集める。湿らしても良い場合は、粉塵を防ぐために湿らせてから掃き入れる。残留分を注意深く集め安全な場所に移す。作業の際には必ず保護具を着用する。風下で作業をしない。

7.取扱いおよび保管上の注意

取扱い  
・吸い込んだり、目、皮膚および衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。  
・取扱い場所には局所排気装置を設置する、使用後は容器を密封する。  
・漏れ、あふれ、飛散させないようにし、粉塵を発生させない。  
・容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な扱いをしない。  
・長期や繰り返しの暴露は避ける。

保管

・容器は直射日光を避け、冷所に貯蔵し、密閉して、空気との接触を避ける。

8.暴露防止及び保護措置

管理濃度 作業環境評価基準:設定されていない  
許容濃度 日本産業衛生学会勧告値:設定されていない  
ACGIH (TLV): 設定されていない

OSHA (PEL) : 設定されていない

#### 設備対策

- ・屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化,または局所排気装置を設置する。
- ・取扱い場所の近くに安全シャワー,手洗い・洗眼設備を設け,その位置を明瞭に表示する。

#### 保護具

保護眼鏡,保護手袋,保護長靴,保護マスク

---

### 9.物理的及び化学的性質

外観 青色の結晶性粉末

外観等 : 青色粉末,無臭

沸点 : 分解

融点 : 分解(600 )

蒸気密度 データなし

蒸気圧 データなし

密度 : 1.62 g/mL (20 )

溶解度 : 水に不溶。

硫酸に可溶,硝酸に分解する。

n-オクタノール/水分配係数 :  $\log Po/w = 6.6$

---

### 10.安定性及び反応性

安定性・反応性 : 通常の使用条件においては安定である。  
酸化剤と混触すると激しく反応することがある。  
加熱すると分解し,窒素酸化物,一酸化炭素を発生する。

---

### 11.有害性情報(人についての症例,疫学的情報を含む)

急性毒性(50%致死量等を含む):

経口ラットLD50 >15gm/kg (RTECS)

ラットLD50 >10000mg/kg(SIDS)

飲み込んで有害性は低い。

吸入(粉じん) 粉じんを吸入すると,鼻,のど,気管が刺激される。

刺激性(皮膚,眼):動物を用いた皮膚刺激性試験で「刺激性なし」と評価されている。

(JETOC推定)

皮膚刺激性は低いと推定される。

眼に入ると,眼を機械的に刺激する。

感受性 : データなし

生殖細胞変異原性 : データなし

発がん性 : データなし

変異原性 : データなし

生殖毒性 : ラットに交配前14日から授乳3日まで経口投与した試験において,

親動物の生殖毒性は否定されており,胎生期経口ばく露による

催奇形性作用も観察されていない。(JETOC推定)

特定標的臓器・全身毒性(反復暴露):

ラットの28日間経口投与,1000mg/kg/day(90日補正值:

311mg/kg/day)で重大な毒性影響は見られず,さらにラットおよび

マウスに13週間混餌投与後5%濃度(2500mg/kg/day)でも

毒性症状は観察されていない。これらの用量はいずれもガイドランス値

区分2の上限を上回る。(JETOC推定)

---

### 12.環境影響情報

分解性 : 分解度:0% by BOD(経産省既存化学物質安全性点検)

難分解性である。

蓄積性 : 濃縮倍率:<0.33~11(濃度0.6mg/l);<3.6~(濃度0.06mg/l)

(経産省既存化学物質安全性点検)

濃縮性がない又は低いと判断される物質である。

魚毒性 : ヒメダカ LC50 >100mg/L/48hr

水生生物に対し急性毒性は低い。

---

### 13.廃棄上の注意

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

---

### 14.輸送上の注意

容器の破損,漏れが無いことを確かめ,衝撃・転倒・落下・破損の無

いように積み込み,荷ぐずれ防止を確実に行う。

該当法規に従って取扱,包装,表示,運送を行うこと。

(国,都道府県並びにその地方の法規,条令に従うこと。)

輸送に関する国際規制

陸上輸送 : 規制なし

海上輸送 : 規制なし

航空輸送 : 規制なし  
国連分類 : 非該当  
国連番号 : 非該当  
海洋汚染物質 : 非該当

---

#### 15.適用法令

労働安全衛生法 : 「名称等を通知すべき有害物」 No.379  
化学物質管理促進法(PRTR法) : 非該当  
消防法 : 非該当  
毒物及び劇物取締法 : 非該当  
船舶安全法(危規則) : 非該当  
航空法 : 非該当

---

#### 16.その他の情報

##### 参考文献

化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ 化学工業日報社  
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ 化学工業日報社(2000)  
化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会編  
化学大辞典 共同出版  
安衛法化学物質 化学工業日報社  
産業中毒便覧(増補版) 医歯薬出版  
化学物質安全性データブック オーム社  
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編) 三共出版  
化学物質の危険・有害性便覧 労働省安全衛生部監修  
中央労働災害防止協会編

---

このデータは作成の時点における知見によるものですがかならずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。